

森林資源の循環利用

～町民ホール木質化～



中頓別町では、森林が町の約8割を占めています。

森林は、地球温暖化防止だけではなく、国土の保全や水資源の保全、土砂災害の防止などの働きがあり、適切に整備し、使って育てる「循環利用」をすることが大切です。

今月号では町産木材を使用し、整備された町民ホールについてご紹介します。

これまでの取り組み

中頓別町では、令和2年度から「未来のための森の授業」を行っています。「未来のための森の授業」は、令和6年度からの森林環境税に先立ち、町民一人ひとりが森との付き合い方を自分のこととして考えるための取り組みです。

これまで税金や森について学ぶ座談会やワークショップ、関係者の視察や研修、町産材の有効活用を目的とした町民ホール木質化などを行ってきました。

また、赤ちゃんの積み木を保護者の方が仕上げる「積み木教

室」や小学4年生から中学校卒業までの期間学校で使用する机の天板を町産材で作った天板に交換する「天板交換プロジェクト」、小学4年生が森を学ぶ「未来のための森の授業」、子どもから大人までたくさんの方の夢を預かる「みんなのモニュメント」、町で産出される間伐材をバイオマスエネルギー活用する「薪ストーブ」などの事業を行い、「これから森を活かすこと」や「未来に向けて本当に必要なことはなにか」をみんなで考える基礎づくりを行ってきました。

町民ホール木質化

令和5年度から3年間、役場町民ホールの木質化が行われました。本町で産出された木材は、ほとんどが町外へ流通され建築用資材や梱包材、バイオマス発電の燃料として活用されており、町産材に直接ふれあう機会がないのが現状です。

今回の町民ホールの木質化では、木材を使用した内装材などを増やすだけではなく、来庁者

森林環境税・森林環境譲与税とは？

「森林環境税」と「森林環境譲与税」とは、温室効果ガス排出削減目標の達成や災害防止等を図るための森林整備等に必要な地方財源を安定的に確保すつ観点から平成31年に創設されました。

「森林環境税」は国内に住所のある個人に対して課税される国税で、市町村において個人住民税均等割と併せて1人年額1,000円が徴収されています。

「森林環境譲与税」は、「森林環境税」の税收全額が国によって「森林環境譲与税」として都道府県・市町村へ譲与されています。都道府県は「森林整備を実施する市町村の支援等に関する費用」、市町村は間伐等の「森林整備に関する施策」と人材育成・担い手の確保、木材利用の促進や普及啓発等の「森林の整備の促進に関する施策」に充てることとされています。

みんなのモニュメント・ゆめのたね



みんなのモニュメントは町産材のアカエゾマツとトドマツを使用して作られたまつぼっくり型の木製彫刻です。

授業やワークショップでみなさんが夢を書いた「ゆめのたね」を保管する「夢の預かり場所」となっています。

の方が町産材を直接見て触れることができるように工夫されています。

今回使用された町産材はトドマツです。トドマツは北海道で最も蓄積が多いとされている針葉樹で、白く暖かい色合いが特徴です。木質が柔らかく堅牢な製品になりづらいため、建築の羽柄材や梱包材（パレット）などに加工されることが多く、製品として目にするのが少ない木材です。針葉樹での家具製作が経験豊富な工房により加工されました。

役場に入って最初に目に入るのは「庁舎案内板」です。入口側では庁舎内の見取り図や町のイベントなどを確認することができます。裏側には、東京藝術大学の中村朱里さんによる中頓別の自然と子どもたちがモチーフの優しいイラストが描かれています。入口隣の壁には、町の取り組みなどを写真付きで紹介するパネルがあります。

町民ホールでは、薪ストーブのそばで話をしたり、仕切りで

区切られたプライバシーに配慮した打ち合わせスペースで他の来庁者の目を気にせず打ち合わせや相談ができます。

窓口では、天井から各課の名前が吊り下げられ目的地がわかりやすくなったほか、テーブルと椅子が新しくなりました。特に住民グループでは、窓口の間に仕切りができ、隣の窓口に別の人がいても安心して手続きを行うことができます。

これからの取り組み

本町は、木材加工施設がないため間伐等で産出された木材は、ほぼ全量が町外へと搬出され利用されています。

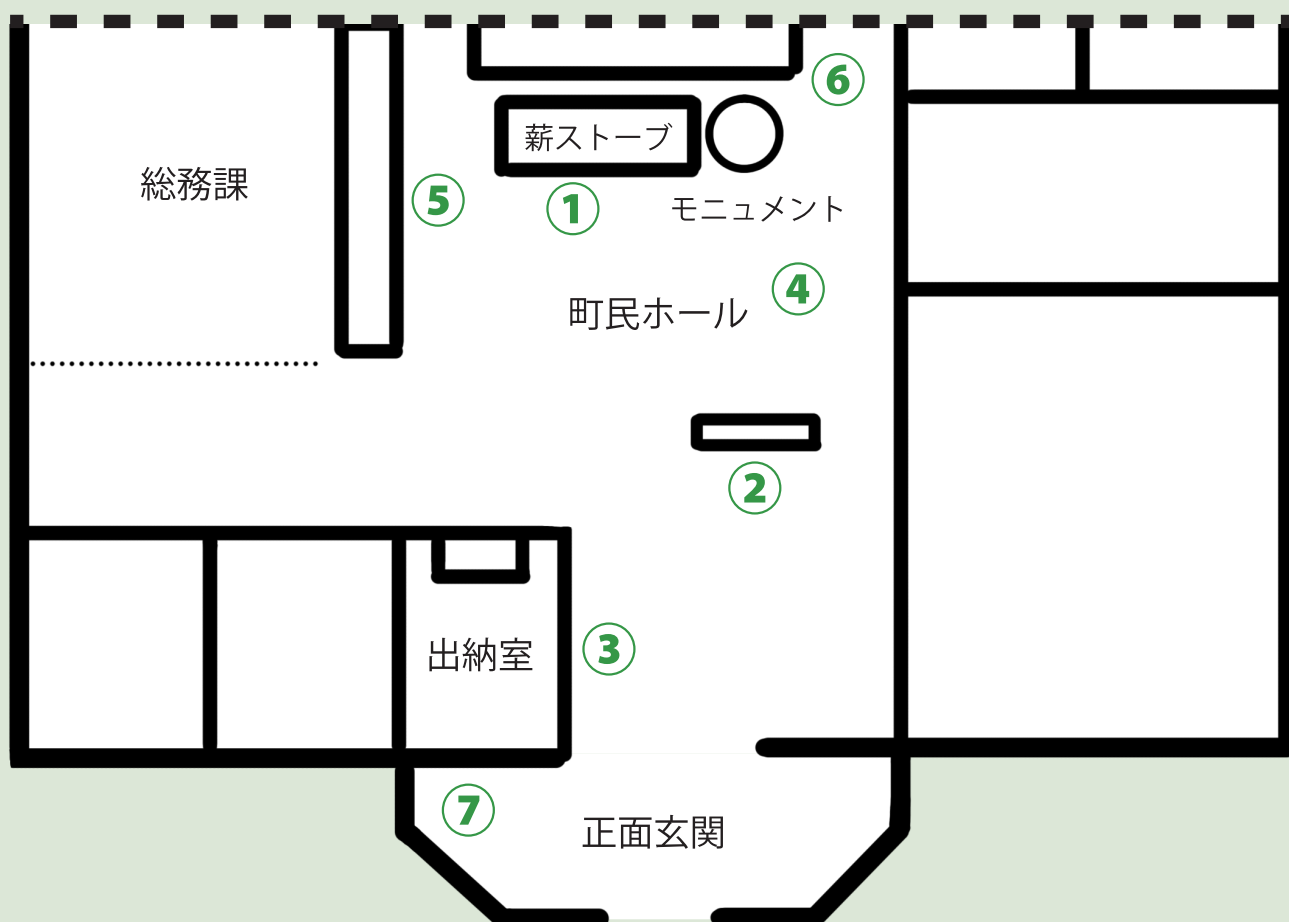
地元で生産された木材を少しでも地元で有効活用（地産地消）できる取り組みや体制づくりを、令和2年度から令和7年度で取り組んだ事業「未来のための森の授業」を基に新たな展開を推進していきます。令和8年4月には、今までの活動等について冊子にまとめて町民の皆様配布する予定です。



①薪ストーブ

薪ストーブは、令和 3 年 12 月 1 日に森林環境譲与税を活用して町民ホールに設置されました。

森林整備を行ったときに産出される間伐材の低質材（曲がっているものや細いものなど建築用の材としての価値が低いもの）を木質バイオマスエネルギーとして活用し、町内での木材利用を促進しています。



町民ホール木質化で作られた木製品を製作する様子を、伐採から製材、乾燥、加工まで動画で詳しく見ることができます。



②庁舎案内板



③町を紹介するパネル



④打ち合わせスペース



⑤プライバシーに配慮した窓口



⑥分別がわかりやすいゴミ箱



⑦傘立て